



楽しい遠足になりました♪

2月22日(木)に6年生が、27日(火)には1年生から5年生(やまぶきは各学年に合流)が、遠足を実施しました。6年生は、天気あまり良くなかったものの雨に降られることはありませんでした。6年生以外は、少し風が冷たかったのですが、天気心配は無用でした。各学年の目的地は右の通りです。

6年生は、松山市の指定文化財である掩体壕を見学し、その後、考古館で火起こし体験をしました。掩体壕は、戦時中、航空機を敵機から守るために作られた格納庫です。子どもたちは、その歴史的な価値を平和の尊さも含めて理解することができました。考古館での体験では、火を起こすことの難しさを感じました。

1、2年生は、校区内の公園で活動しました。移動距離は学年に見合う程度だったので、その分、現地で過ごす時間をたっぷり取りました。友達と一緒にたくさん遊ぶことができました。3、5年生は、歴史的な施設、公共施設の見学も含めた遠足です。普段見ることができないものを、友達と一緒に確認することで、新たな発見もありました。4年生は、電車と徒歩で文化の森公園まで行きました。公園は広く、遊具も充実していたので、楽しく活動することができました。

友達と一緒に見学したり、弁当やお菓子を食べたりしたことは、卒業式や修業式をもうすぐ迎える子どもたちにとって、きっと思い出深いものになったはずです。また、公共のマナーについて理解するよい機会にもなりました。学校の中ではできにくいことを、校外の活動で学びました。

【掩体壕や考古館に行ったことについての6年生の感想】

掩体壕に行ったのは今回が初めてでした。掩体壕に着くと、予想外な形をしていたのでびっくりしました。独特な形をしている理由は、戦闘機を相手の攻撃から守るためだと知って、松山でも激しい戦争が行われていたんだなと思いました。そして、昔の人の生活の苦しさがとても分かりました。松山市考古館はどんなところか知っていたけれど、一度も行ったことはありませんでした。展示物などを見て思ったことは、昔の人は賢いということです。竪穴式住居にして、床をつくる手間を省いたり、古墳の天井を丸めて頑丈にしたりして、生活に様々な工夫がされていて、人間には昔から知恵があったことが分かりました。また、掘り出されたものは、全て、物の一部で、それを丁寧に磨いて、洗って、くっつけて、色をつけてやっと展示物として出せることを知って、復元はとても大変だなと思いました。

【各学年の目的地】

- 1年生…谷町公園
- 2年生…やなぎいけ公園
- 3年生…松山城、堀之内公園
- 4年生…文化の森公園
- 5年生…NHK、県立美術館、図書館
- 6年生…掩体壕、考古館、市総合公園

